

広 報 特 別 委 員 会

日 時 令和5年6月9日(水)
広聴特別委員会終了後
場 所 第2委員会室

付議事項

1 中学生を対象とした本会議傍聴について

(1) 実施日時・傍聴内容

6月19日(月)午前9時30分 伊場議員の一般質問・・・資料1

(2) アンケートの実施について・・・資料2

(3) 意見交換会の実施について

2 その他

一 般 質 問 通 告 書

令和 5 年 6 月 定例会

9 番 伊 場 勇 議員 (一問一答)

1 生成 AI サービス「ChatGPT」について

「ChatGPT (Generative Pre-trained Transformer)」とは、米国企業 Open AI 社が開発した、人工知能を使ったチャットサービスである。入力した質問に対し、自然でクオリティの高い回答を対話形式で出すことができ、それ以外にも、文章の作成、表計算等の関数の作成、プログラミングの作成等もできる。国内においては横須賀市が 2023 年 4 月 20 日に行政事務への活用実証を開始し、全職員を対象に広範な実業務で利用を認めており、今後全国的に活用が急速に広まると考える。

- (1) ChatGPT は行政事務においてどのような用途に使用できるのか。
- (2) ChatGPT はどの程度の正確性や信頼性があるのか。
- (3) ChatGPT を使用するに上で制限事項やリスク等をどのように考えているのか。
- (4) ChatGPT を学校現場で活用する考えはあるか。
- (5) ChatGPT を効果的に活用することで行政事務の効率化を図ることができると考えるが、今後本市はどのように展開していくのか。

2 本市の農業振興と山口東京理科大学との関わりについて

市内の農地は年々無耕作地が増加し、地産の農作物の収穫量の減少に加え、美しいふるさとの景観も失われている。それには様々な要因があるが、この度は本市の特色の一つである市立山口東京理科大学と本市の農業との関係と取組について聞く。

- (1) 現在、山口東京理科大学が本市の農業にどのように関わっているのか。
- (2) 現在、持続可能な農業を推進するために、スマート農業（ロボット技術や ICT 等の先端技術の活用による新たな農業）や減農薬、無農薬のオーガニック農業に注目が集まっている。そこで、本市の専門性の高い大学との連携や研究がこれからの地域農業の振興や活性化に生かされると考えるが、そのための施策を展開する考えはあるか。
- (3) 山口東京理科大学の大学生が本市の農業に関わることは、将来的にどのような効果があると考えるか。
- (4) 本市の農業振興が進まない理由の一つに人手不足・担い手不足がある。具体的な施策として、大学生が農業アルバイトとしてお手伝いしやすい

環境を市は支援できないか。

3 地方選挙の投票率について

18歳以上の市民は、投票によって自らの代表者を選び、政治的な意思決定に参加する機会を得ることができる。しかし、まちの政治への関心の低さ等の理由により、本市の投票率は年々低下傾向であり、過去最低の数字を更新している。市民のまちづくりに対する意識を考える上で、投票率とまちづくりには密接した関係性があり、誰もが主役の「協創によるまちづくり」を推進している本市において、大きな問題と捉えるべきと考える。

(1) 本市の投票率が上がらない理由をどのように分析しているか。

(2) 投票率を向上させるための現在までの取組と成果は何か。

(3) 投票率は、市民が地域の問題に関心を持ち、政治的な意思決定に参加し、まちづくりに積極的に関与していることを示す指標となると考える。

「協創によるまちづくり」を推進する一つの指標として投票率を加えるべきではないか。

中学生を対象とした本会議傍聴について（依頼）

本市議会（令和5年6月定例会）において、下記のとおり傍聴くださいますよう御案内申し上げます。なお、下記対象者以外の市内中学校においても積極的に議会中継を視聴していただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 期 間 令和5年6月15日（木）から21日（水）
- 2 場 所 山陽小野田市議会議場
- 3 対 象 者 高千帆中学校3年生
(傍聴は生徒会13名、生徒会以外の生徒は学校で中継視聴)
- 4 目 的 18歳選挙権を見据え、実際に本会議を体感しながら政治の役割等について学習することで、有権者として政治や社会への関わりを自ら考える機会としてもらうため。
- 5 傍聴内容 一般質問
- 6 移動方法 市マイクロバス
- 7 そ の 他 傍聴（中継視聴）後に、アンケートの回答に御協力をお願いします。